

「広野台地区防災マップ制作準備」始めました

平成 30 年8月 27 日(月)

広野台自主防災会連絡協議会

会長 中田 健

広野台地区の防災マップ制作のために、8月27日(月)朝9時より広野台集会所前に役員や民生委員5人並びに小学生4人が集合し、広野台第三自治会の防災施設や危険場所の確認を行いました。

特筆することは、夏休みの広野台集会所児童開放日に参加した小学生高学年4人が関心を示し、参加してくれたことです。



- ① 広野台集会所にある防災倉庫の確認をしました。内部には軽可搬ポンプ・災害時必要工具等が入っていました
- ② 集会所の脇には井戸があり、飲料水としては使えないが生活水として、災害時に利用できることを確認。
- ③ その脇に防火水槽があり、災害時インフラが止まっても、可搬ポンプを使えば消火出来ることを確認。



井戸を確認する



消火栓ホース格納箱の内部を点検

- ④ 消火栓並びにホース格納庫の内部を確認しました。第三自治会には消火栓用マンホールが4ヶ所、ホース格納箱が3ヶ所ありました。
- ⑤ 消火栓はマンホールを開け、利用の仕方について確認しました。児童は是非、次回の放水訓練時は、自分たちも、実際に練習したいと意欲満々でした。
- ⑥ マンションの車庫には移動式泡消火設備が2ヶ所ありました。
- ⑦ いっとき集合場所(3ヶ所)を確認
- ⑧ 避難経路(道路)を確認 「災害時、避難する場合、

道路の凹凸に注意するだけでなく、建屋からの落下物(瓦・クーラー室外機等)がないか? 電信柱・古い樹木等倒壊してくるものがないか?等の注意することを話し合った。



広野台第三自治会内避難道路を歩き危険な場所のチェック

マンション駐車場の移動式泡消火器を確認



消火栓マンホールを開け内部構造を確認

約1時間の現場確認で作業を終りました。

この後、白地図に必要項目をプロットして、広野台地区防災マップを作製していきます。